

大切なあなたとあなたの家族を乳がんから守りたい

早期発見・早期治療で乳がんは治る!!

乳がんは女性の壮年層(30~64歳)のがん死亡原因のトップです。9人に1人が乳がんにかかると言われている現在、決して他人事だとは考えないでください。そして乳がんも他のがんと同じく初期症状はほとんどありません。そんな乳がんから身を守る唯一の方法が「定期検診による早期発見」なのです。早期発見であれば高い確率で治療することが可能です。

習慣づけてください

乳がんは30歳頃から急激に罹患率が上昇します。そのために20歳代からの自己検診を習慣づけてください。乳がんに限らず、自分の体・健康状態を把握し管理するのは現代を生き抜く女性の必須条件です。月に1度、同じ条件で自己検診を行ってください。そして、40歳からはマンモグラフィ検診を受けましょう。

あなたも始めてください!

20~30代

月に1度の自己検診

自己検診で異常を感じたら、すぐに専門医療機関を受診しましょう

40歳~

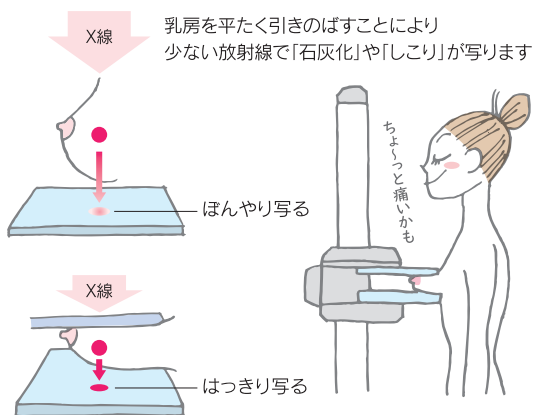
月に1度の自己検診

定期的な乳がん検診

自治体・職場・人間ドック・専門医療機関等で乳がん検診を受けることができます

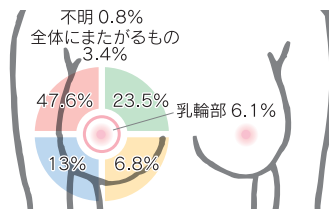
マンモグラフィって何?

乳房は立体的で厚みがあり、脂肪や乳腺や血管などと重なってがんが良く画像に映らないことがあります。このために乳房を平たく押し伸ばした状態にして撮影することで、しこりをつくる前の早期乳がんのサインである石灰化を写し出せます。やや強めに押さえますが、一定以上の圧力はかからない設定になっていますのでご安心ください。



乳がんのできやすいところ

乳房の外側の上方がいちばん多く、次いで内側の上方、外側の下方、内側の下方、乳首付近の順になっています。



※重複症例あり
出典:全国乳がん患者登録調査報告 第32号 2000